

# 決算報告書

第29期

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

知立まちづくり株式会社

知立市中町中132番地

# 事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## 1. 営業の概要

### (1) 営業の経過及び効果

数年に渡り被害をもたらし続けてきた新型コロナウイルス感染症による影響も、第8波以降に厚生労働省が発表した「マスク着用の個別判断化」など各種制限の緩和により、人の動きも少しずつ活発になり、駐車場利用台数や貸館施設者の増加など、ようやく収束の兆しが見えてきたように感じます。

令和4年度は水道光熱費、特に電気代のかつてない高騰への対応に苦慮しました。かねてより電気契約には留意しており、今回の高騰に対しましても電力各社の料金プランの比較検討を行い、電力会社の変更や施設の節電徹底など最善の手を尽くしてまいりましたが、電気代増は免れない状況でした。

主催公演は、コロナ感染対策ガイドラインに沿いながらも、合唱公演を含む主催22公演、共催1公演を開催しました。

前年度と比べ公演数が倍近く増えているのは「リリオ ミニ・コンサート」を毎月開催するようになったためであり、その効果は大きく、当初はまばらだった入場者も、定着してきた現在では毎回100名近くの方に来場していただくまでとなりました。

新しい客層を狙った公演では、前回好評だった「サイエンスショー」や「走るピアノパフォーマンスショー」などを行いました。中でも初めてのYoutuberによる公演「みやけん ONE MAN CONCERT in 知立」は県外からの来場者も多く、チケットも完売いたしました。

また、国際ピアノコンクールで優勝した「亀井聖矢ピアノリサイタル」は発売前から問い合わせも非常に多く、平日の夜公演にもかかわらず早期完売することが出来ました。

事業面では、全体の売上高は37,424千円、前年度比11.6%増となりました。駐車場収入は前年度比12.0%増、文化施設収入は前年度比11.3%増、イベント等収入は3,627千円となり、イベント等原価の3,560千円とわずかですが利益を上げることが出来ました。

また、費用の面では販売費及び一般管理費は79,650千円で前年度比4.8%増となり、主なものとしては水道光熱費の8,112千円と租税公課の8,024千円です。

結果として、8,283千円の当期純損失となり、繰越利益剰余金は▲83,937千円です。

### (2) 今後対処すべき課題

令和5年4月1日より「知立市観光交流センター」の指定管理者となります。これまでにない新たな業務への取り組みとなり、市役所関係部局との連携や協力が重要です。

情報共有や意見交換を定期的に行い、観光への専門性を高め、知立への観光客や地域の皆さんに親しまれる観光交流センターを目指します。

また、知立市の文化振興の拠点となるよう、ちりゅう芸術創造協会、知立市文化協会やホテルクラウンパレス知立等と協力体制を強化すると同時に、鉄道高架事業の進捗とともに変貌を遂げていく中心市街地の活性化への寄与を深めていくことで、知立市が輝くまちとなるようまちづくりに貢献してまいります。

## (3) 営業成績及び財産の状況推移

(単位：千円)

区分	第25期 平成30年度	第26期 令和元年度	第27期 令和2年度	第28期 令和3年度	第29期 令和4年度
売上高	46,958	38,973	26,146	33,518	37,424
経常利益	▲ 1,533	▲ 2,376	▲ 12,086	▲ 9,282	▲ 9,455
当期利益	▲ 451	▲ 1,293	▲ 10,774	▲ 8,160	▲ 8,283
1株当りの 当期利益	▲24円78銭	▲71円06銭	▲591円92銭	▲448円34銭	▲455円09銭
総資産	373,047	365,696	405,132	380,836	371,586

(注) ①「▲」は損失を表しています。

② 金額は千円以下を切り捨てております。

## 2. 会社の概要

## (1) 主要な事業内容

音楽・公演等催事の企画と運営  
 音楽ホール・会議室等の賃貸と管理  
 駐車場の管理運営  
 その他上記に付帯する事業

## (2) 主要な事業所

本社 知立市中町中132番地

## (3) 株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数 39,600株  
 ②発行済株式総数 18,202株  
 ③当期中名義書換 0株  
 ④当期末株主総数 31名  
 ⑤大株主の状況

株主名	持株数	出資比率	当社の大株主への 出資状況
知立市	8,000株	44.0%	なし
中小企業基盤整備機構	8,000株	44.0%	なし
知立銀座商店街協同組合	1,278株	7.0%	なし
知立市商工会	200株	1.1%	なし

## (4) 長期借入金の借入先・借入残額 (単位：千円)

借入先	期首残高	当期増加額	当期減少額	借入残額
碧海信用金庫	32,384	0	5,712	26,672

(注) ①一年内返済予定長期借入金が含まれています。

②金額は千円以下を切り捨てております。

## (5) 従業員の状況 (単位：人)

区分	一般社員	パート	嘱託	合計	対前期末増減
男子	3	0	1	4	0
女子	0	5	0	5	0
合計	3	5	1	9	0

## (6) 取締役及び監査役並びに兼務の状況

役職		氏名	兼務する主な職業
代表取締役	常勤	隅田 薫	知立銀座商店街協同組合 代表理事 (株)しんばしや 代表取締役社長
取締役	非常勤	加藤 敏三	知立銀座商店街協同組合 理事 (株)丸八 代表取締役会長
取締役	非常勤	新美文二	知立市商工会 会長 (株)コムライン 代表取締役会長
取締役	非常勤	水谷 弘喜	知立市副市長
監査役	非常勤	岡本 勝年	
監査役	非常勤	田中 賢治	知立金融協会 会長

## 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部			負債・純資産の部		
科 目	前期額	決算額	科 目	前期額	決算額
<b>【流動資産】</b>	<b>【51,936】</b>	<b>【52,419】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【14,552】</b>	<b>【19,297】</b>
現金及び預金	45,676	48,683	1年以内返済 長期借入金	5,712	5,712
売掛金	846	2,695	未払金	4,546	3,650
前払費用	212	859	未払法人税等	296	296
未収入金	5,201	180	未払消費税等	0	294
<b>【固定資産】</b>	<b>【328,899】</b>	<b>【319,166】</b>	前受金	2,423	7,747
(有形固定資産)	(301,191)	(293,176)	預り金	104	111
建物	176,119	168,152	賞与引当金	1,469	1,485
構築物	22	15	<b>【固定負債】</b>	<b>【26,672】</b>	<b>【20,960】</b>
車両運搬具	0	0	長期借入金	26,672	20,960
器具備品	13	8	負債の部計	41,224	40,257
土地	125,000	125,000	純資産の部		
その他 有形固定資産	36	0	I株主資本	(339,612)	(331,328)
(無形固定資産)	(218)	(218)	1.資本金	100,000	100,000
電話加入権	218	218	2.その他資本剰余金	315,266	315,266
(投資その他の資産)	(27,489)	(25,772)	3.資本剰余金	(0)	(0)
出資金	40	40	4.利益剰余金	(▲ 75,654)	(▲ 83,937)
積立金	27,449	25,732	(1)その他利益剰余金	(▲ 75,654)	(▲ 83,937)
			繰越利益剰余金	▲ 75,654	▲ 83,937
			純資産の部計	339,612	331,328
資産の部計	380,836	371,586	負債・純資産の部計	380,836	371,586

(注) 金額は千円以下を切り捨てております。

## 損益計算書

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

(単位：千円)

科 目	前 期 額	決 算 額	対 前 年 比
【 売 上 高 】	( 33,518 )	( 37,424 )	( 3,905 )
駐 車 場 収 入	17,210	19,276	2,065
文 化 施 設 収 入	11,557	12,864	1,307
イ ベ ン ト 等 収 入	3,143	3,627	484
そ の 他 営 業 収 入	1,607	1,655	48
【 売 上 原 価 】	( 3,226 )	( 3,560 )	( 334 )
期 首 棚 卸 高	0	0	0
イ ベ ン ト 等 原 価	3,226	3,560	334
合 計	3,226	3,560	334
期 末 棚 卸 高	0	0	0
売 上 総 利 益	30,292	33,863	3,571
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】	75,950	79,650	3,700
営 業 損 失	45,658	45,786	128
【 営 業 外 収 益 】	( 36,830 )	( 36,711 )	( ▲ 118 )
受 取 利 息	2	0	▲ 1
市 補 助 金	36,000	35,640	▲ 360
受 取 配 当 金	1	1	0
雑 収 入	826	1,069	242
【 営 業 外 費 用 】	( 455 )	( 380 )	( ▲ 74 )
支 払 利 息	455	380	▲ 74
経 常 損 失	9,282	9,455	172
	0	0	0
【 特 別 利 益 】	( 1,623 )	( 1,469 )	( ▲ 154 )
賞 与 引 当 金 戻 入	1,623	1,469	▲ 154
【 特 別 損 失 】	( 204 )	( 0 )	( ▲ 204 )
固 定 資 産 除 却 損	204	0	▲ 204
税 引 前 当 期 純 損 失	7,863	7,986	122
法 人 税 そ の 他 の 税	297	296	0
当 期 純 損 失	8,160	8,283	122

(注) 金額は千円以下を切り捨てております。

# 株主資本等変動計算書

第29期（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）

（単位：千円）

	前期額	決算額
<b>I 株主資本</b>		
1. 資 本 金		
当期首残高	100,000	100,000
当期変動額	0	0
当期末残高	<u>100,000</u>	<u>100,000</u>
2. その他資本剰余金		
当期首残高	315,266	315,266
当期変動額	0	0
当期末残高	<u>315,266</u>	<u>315,266</u>
3. 利益剰余金		
(1) その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	▲ 67,493	▲ 75,654
当期変動額		
当期純損失	▲ 8,160	▲ 8,283
当期末残高	<u>▲ 75,654</u>	<u>▲ 83,937</u>
その他利益剰余金合計		
当期首残高	▲ 67,493	▲ 75,654
当期変動額		
当期純損失	▲ 8,160	▲ 8,283
当期末残高	<u>▲ 75,654</u>	<u>▲ 83,937</u>
株主資本合計		
当期首残高	347,772	339,612
当期変動額		
当期純損失	▲ 8,160	▲ 8,283
当期末残高	<u>339,612</u>	<u>331,328</u>
<b>II 評価・換算差額等</b>		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	<u>0</u>	<u>0</u>
<b>III 新株予約券</b>		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	<u>0</u>	<u>0</u>
<b>純資産の部合計</b>		
当期首残高	347,772	339,612
当期変動額		
当期純損失	▲ 8,160	▲ 8,283
当期末残高	<u>339,612</u>	<u>331,328</u>

（注）金額は千円以下を切り捨てております。

## [ 注 記 事 項 ]

### I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 固定資産の減価償却方法

##### (1)有形固定資産

定率法または旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

なお、取得価格10万円以上20万円未満の資産については、3年均等償却を採用しております。

#### 2. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

### II. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額            675,866千円

### III. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数                                18,202株

### IV. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、18,202.85円であります。

2. 一株当たり当期純損失は、455.09円であります。

### V. 会計参与への就任状況

当社は、会社法に定める会計参与設置会社であり、会計参与としてTKC全国会会員である野村昌司が就任しております。

以 上

# 監査報告書

令和5年5月12日

知立まちづくり株式会社  
代表取締役 隅田 薫 殿

監査役 田中 賢治 

監査役 岡本 勝年 

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの第29期営業年度における取締役の職務の執行を監査した結果、次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法の概要

取締役会及びその他重要な会議に出席するほか、取締役等から事業の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、かつ計算書類及び付属明細書につき検討を加えました。

## 2. 監査の結果

- (1) 事業報告書は法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 株主資本等変動計算書に関する議案は、会社財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項は認められません。
- (3) 付属明細書は記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (4) 取締役の職務遂行に関する不正の行為、又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

なお、取締役の競業取引、取締役と会社間の利益相反取引、会社が行った無償の利益供与、株主との通例的でない取引並びに自己株式の取得及び処分等についても取締役の義務違反は認められません。

以上